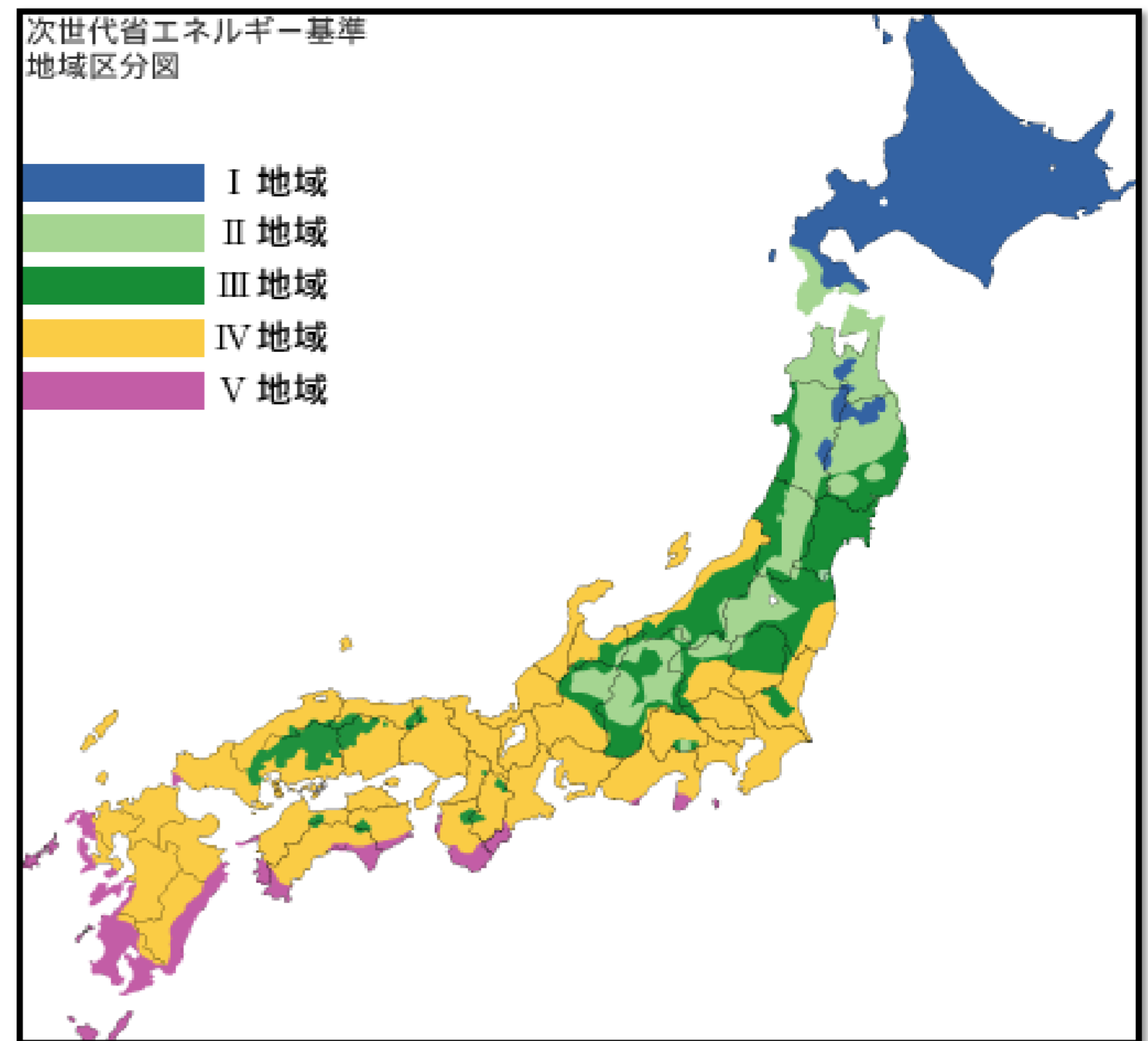


『サーモウール』次世代省エネルギー基準適合表（一般仕様の場合）

		次世代省エネルギー基準 (充填断熱工法)	
		等級 4 (性能表示)	
		必要な熱抵抗値 (R)	タイプB 必要量
地域I	屋根	6.6	2 (※1)
	天井	5.7	2 (※1)
	壁	3.3	1 (※1)
	床 (外気の接する部分)	5.2	2
	床 (その他部分)	3.3	1 (※1)
地域II	屋根	4.6	2
	天井	4.0	2
	壁	2.2	1
	床 (外気の接する部分)	5.2	2
	床 (その他部分)	3.3	1 (※1)
地域III	屋根	4.6	2
	天井	4.0	2
	壁	2.2	1
	床 (外気の接する部分)	3.3	1 (※1)
	床 (その他部分)	2.2	1
地域IV	屋根	4.6	2
	天井	4.0	2
	壁	2.2	1
	床 (外気の接する部分)	3.3	1 (※1)
	床 (その他部分)	2.2	1
地域V	屋根	4.6	2
	天井	4.0	2
	壁	2.2	1
	床 (外気の接する部分)	3.3	1 (※1)
	床 (その他部分)	2.2	1



■ 表の熱抵抗値必要量は、サーモウール厚さ保証値 (タイプA 105mm・タイプB 140mm) に基づいた場合の一例。

■ 1 = 1重充填 ■ 2 = 2重充填

■ (※1) = 製品の厚さが200mmの場合。

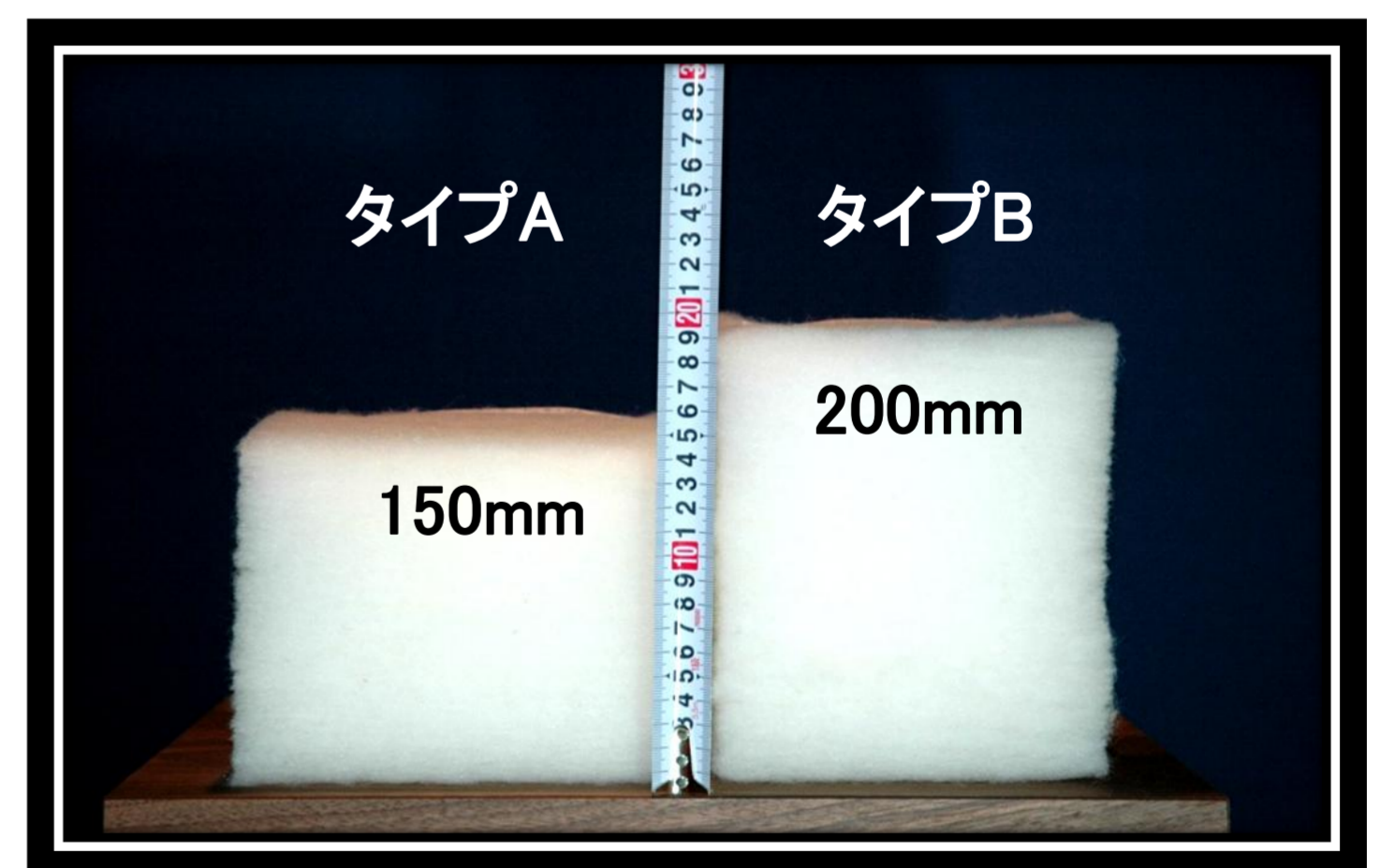
■ その他、下記の「断熱性能表 (厚さ別)」を基に、タイプAとタイプBを組み合わせた充填も可能です。

※ トレードオフの場合は裏面をご参照ください。

★ 『サーモウール』タイプBは伸縮性がありますので、100mm~200mm (※2) の壁厚に対応できます。
(詳しくは下記の「断熱性能表」をご参照ください)

『サーモウール』断熱性能表 (厚さ別)

厚さ (mm)	熱抵抗値 [(m ² · K) / W]		備考
	タイプA	タイプB	
100	R1.92	R2.22	
105	R1.97	R2.30	タイプA厚さ保証値 「3寸5分柱」
110	R2.01	R2.47	
120	R2.11	R2.58	「4寸柱」
130	R2.21	R2.68	
135	R2.25	R2.73	「4寸5分柱」
140	R2.30	R2.78	タイプB厚さ保証値
150	R2.40	R2.87	タイプA厚さ最大値 「2×6」
160	-	R2.97	
170	-	R3.06	
180	-	R3.16	
190	-	R3.25	
200	-	R3.35	タイプB厚さ最大値



(※2) 厚さ最大回復時

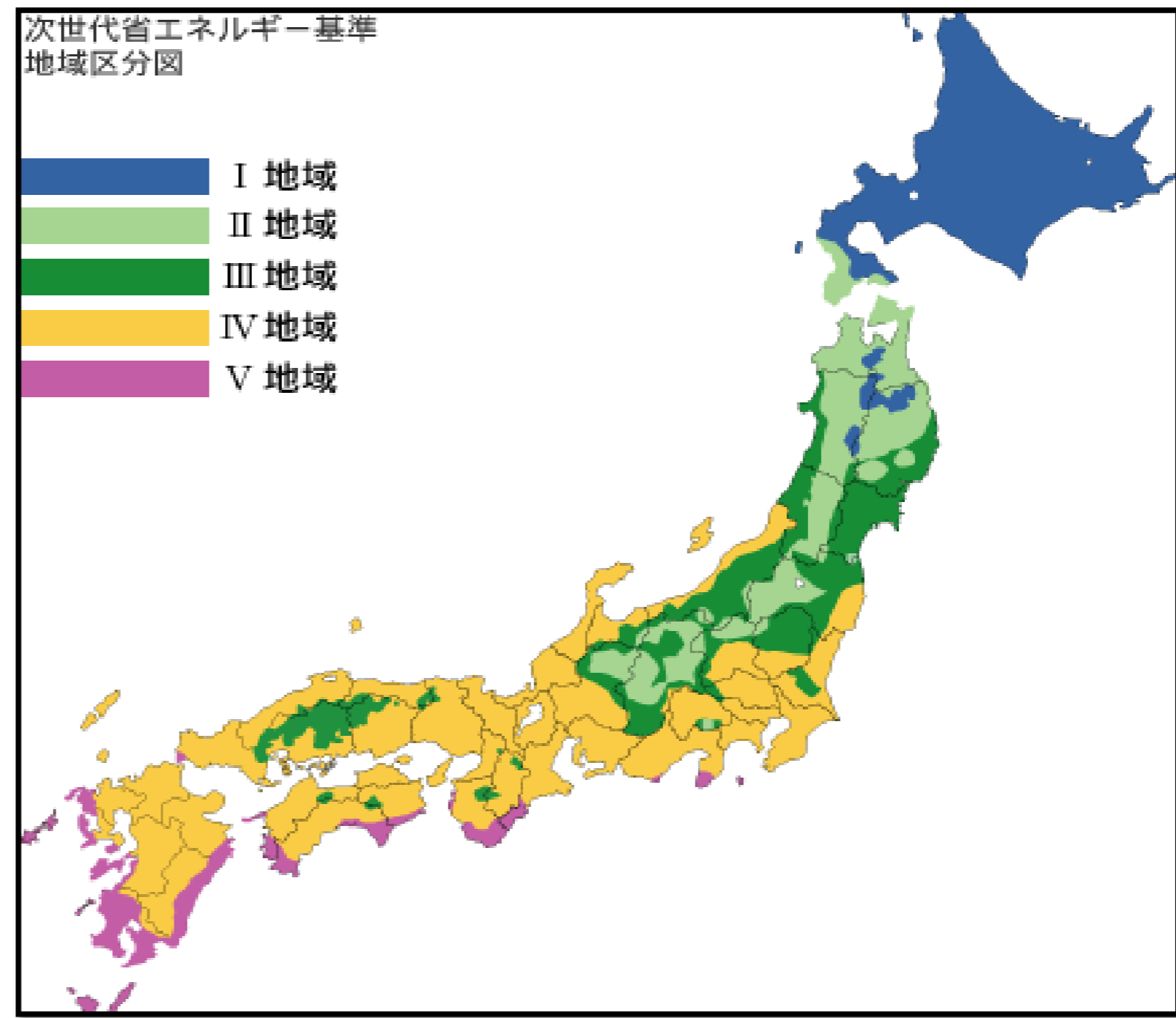
『タイプA』は熱抵抗値 **R2.40 (※2)**

『タイプB』は熱抵抗値 **R3.35 (※2)**

- 厚さ保証値は、タイプA 105mm・タイプB 140mmです。
- 厚さ保証値とはサーモウールを梱包から取り出した後、24時間以内に回復する厚みの最小値を言います。
- タイプA・Bともに、3寸5分柱、4寸柱、4寸5分柱、2×6等様々な壁厚・天井等に対応が可能です。
- 壁厚の奥行きを広く取って頂く程、上記のように熱抵抗値も高くなり更なる断熱性能を発揮します。
- 厚さ最大値は気象条件等で変化することがあり、メーカー保証値ではありません。
- 上表の厚さ別断熱性能 (熱抵抗値) は、(財)建材試験センター提供の計算式に基づいて算出した数値です。

トレードオフ規定に基づく『サーモウール』次世代省エネルギー基準適合表

		次世代省エネルギー基準 (充填断熱工法) 等級 4 (性能表示)	
		タイプB 必要量	
		壁を強化する場合(※1)	開口部の規定を満たす場合(※3)
地域I	屋根	トレードオフ規定はありません	
	天井		
地域II	屋根	1(※2)	トレードオフ規定はありません
	天井	1	
地域III	屋根	1(※2)	1(※4)
	天井	1	1
地域IV	屋根	1(※2)	1(※4)
	天井	1	1
地域V	屋根	1(※2)	1(※4)
	天井	1	1



※1 壁厚135mm(4寸5分柱)以上で、タイプBを1重充填してください。

※2 屋根施工時は製品の厚さを140mm以上で使用してください。
なお、天井施工時は敷き込みしていただくだけで対応可能です。

※3 開口部の基準を満たすには、開口部の熱貫流率が
地域III: 2.91以下 地域IV・V: 4.07以下 となります。
また、建具仕様(下表参照)で満たす場合は、
地域III: I・II地域仕様 地域IV・V: III地域仕様 となります。

※4 屋根施工時は製品の厚さを105mm以上で使用してください。
なお、天井施工時は敷き込みしていただくだけで対応可能です。

★ 『サーモウール』タイプBは伸縮性がありますので、100mm~200mm(※2/裏面)の壁厚に対応できます。
(詳しくは裏面の「断熱性能表」をご参照ください)

- 1=1重充填
- その他、裏面の「断熱性能表(厚さ別)」を基に、一部タイプAで基準をクリアすることも可能です。

■ 建具の基準

地域	建具の種類又は組み合わせ			
I・II	窓または引戸	◇ 三重構造のガラス入り建具	-	ガラス中央部の熱貫流率: 1.91以下
		◇ 二重構造のガラス入り建具	-	ガラス中央部の熱貫流率: 1.51以下
	窓、引戸 または枠ドア	◇ 一重構造のガラス入り建具	少なくとも一方の建具が木製又はプラスチック製	ガラス中央部の熱貫流率: 1.91以下
III	窓、引戸 または枠ドア	◇ 一重構造のガラス入り建具	木製またはプラスチック製 木又はプラスチックと金属との複合材料製	ガラス中央部の熱貫流率: 2.08以下
		◇ 木製建具 ◇ 金属製熱遮断構造 ◇ 木もしくはプラスチックと金属との複合材料製の枠	扉が断熱積層構造 断熱フラッシュ構造扉	ガラス部分を有する場合 ↓ ガラス中央部の熱貫流率: 2.08以下
	ドアまたは引戸	◇ 二重構造のガラス入り建具	少なくとも一方の建具が木製又はプラスチック製 枠が金属熱遮断構造	ガラス中央部の熱貫流率: 2.91以下 ↓ ガラス中央部の熱貫流率: 2.30以下
III	窓、引戸 または枠ドア	◇ 一重構造のガラス入り建具	木製又はプラスチック製 金属製熱遮断構造 木もしくはプラスチックと金属との複合材料製	ガラス中央部の熱貫流率: 3.36以下 ↓ ガラス中央部の熱貫流率: 3.01以下
		◇ 木製建具 ◇ 金属製熱遮断構造 ◇ 木もしくはプラスチックと金属との複合材料製の枠	扉が断熱積層構造 断熱フラッシュ構造扉	ガラス部分を有する場合 ↓ ガラス中央部の熱貫流率: 3.01以下
	ドアまたは引戸	◇ 木製建具 ◇ 金属製熱遮断構造 ◇ 木もしくはプラスチックと金属との複合材料製の枠	断熱フラッシュ構造扉	ガラス部分を有する場合 ↓ ガラス中央部の熱貫流率: 3.01以下